2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
形態系分野	検証病理診断学特論Ⅱ	塩見 達志

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2	選択	2	

目的

病理学的な研究の意義を理解するために，実施の適応，研究の手法，結果の解釈法をそれぞれ習得する。

授業到達目標

（1）英語文献における病理学的用語について理解し，自分でも使用することができる。
（2）病理組織標本の作製過程を概説できる。
（3）免疫組織化学の概要を説明できる。
（4）研究領域に関連した論文の病理画像について理解し，説明できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	隔週	金	16:00-17:00	塩見 達志	講義	[抄読会]	病理学一般，免疫組織化学等に関する研究手法や解釈に関する討論，文献紹介等を行う。 [場所:本館棟５階病理学実験室]
2	毎月	不定期 月２回	16:00-17:00	塩見 達志	講義	[研究検討会]	研究の病理像について報告し，討議を行う。 [場所:本館棟５階病理学実験室]
3	毎月	不定期 月２回	16:00-17:00	塩見 達志	講義	[症例検討会]	研究に関連する疾患の病理標本を観察し，討議する。 [場所:本館棟５階病理学実験室，附属病院４階病院病理部]
4	毎月	不定期 月２回	16:00-17:00	塩見 達志	講義	[症例検討会]	研究に関連する疾患の病理標本を観察し，討議する。 [場所:本館棟５階病理学実験室，附属病院４階病院病理部]

評価方法

（1） 1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものとは異なる論文 （症例）であること。
※２月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

紹介論文の要約について，添削して返却する。

教科書

ISBN-9784765317665, 外科病理診断学　原理とプラクティス, 真鍋　俊明（監）, 三上　芳喜（編）, 金芳堂, 2018

参考書

ISBN-9784830604768, 組織病理アトラス（第６版）, 小田　義直・坂元　亨宇・深山　正久・松野　吉宏・森永　正二郎・森谷　卓也（編）, 文光堂, 2015
ISBN-9784830622625, 乳癌, 森谷卓也, 津田均編集, 文光堂, 2022
ISBN-9784765317825, 免疫染色究極マニュアル, 伊藤　智雄（編著）, 金芳堂, 2019
ISBN-9784830604812, 外科病理学, 深山正久, 森永正二郎編集主幹 ; 小田義直 [ほか] 編集, 文光堂, 2020

準備学習（予習・復習等）

予習１時間、復習１時間を目安に講義ごとに紹介する文献・論文を関連する参考図書とともに，１時間程度次回講義までに読んでおくこと。
毎回の講義後も提示論文や症例を復習すること。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を習得する。

注意事項・メッセージ

（1）対象臓器・疾患の種類にかかわらず，病理形態学的手法に関する内容であれば参加が可能です。
（2）参考書の推薦も行います。